

お申し込み

■申込から当日までの流れ

- 1) 来館1ヶ月前までに「申込フォーム」にてお申込みください。
- 2) 「申込フォーム」をもとに、日程を確認し、当館よりご連絡します。
※当館から「受付番号」をお伝えし、申込完了となります。
※お申込み後、5日間以内に当館より連絡がない場合にはお電話ください。
- 3) 事前打ち合わせ、下見
当日の流れや集合場所、学習目標などを確認します。
- 4) ご来館当日
当日は事前打ち合わせをもとにスタッフがお迎えします。
安心してご来館ください。



申込フォーム

お問い合わせ

利用案内

開館時間：10:00～17:00
金曜日は20:00まで
(入館は閉館の30分前まで)

休館日

月曜日(祝日または振替休日にあたる場合は開館し、翌日休館)、年末年始、展示替期間

観覧料(MOMATコレクション展)

高校生以下と引率教員は無料です。引率教員の下見も事前連絡により無料になります。

102-8322

東京都千代田区北の丸公園3-1
東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口
*駐車場はございません。

ウェブサイト

<https://www.momat.go.jp/>



来館案内



MOMAT
コレクション
について

スクールプログラムについてのお問い合わせ

東京国立近代美術館教育普及室
Tel：03-3214-2605 (平日の10:00～17:00)
E-mail：school@momat.go.jp



MOMAT SCHOOL PROGRAM

東京国立近代美術館のスクールプログラム



東京国立近代美術館は、学校と連携して**スクールプログラム**を行っています。**図画工作・美術**はもちろん、教科横断的に学校ごとの利用目的に合わせて、子どもたちが**探究的な鑑賞**を体験できることを目指しています。

たとえば、対話によって子どもたちの声を引き出す**ギャラリートーク**。子どもたちは本物の作品を前にして、自分の目によく観察し、さまざまなことを考え、それを話したり友達の意見を聞いたりします。ギャラリートークを行うガイドスタッフ(解説ボランティア)や教育担当の学芸員は、作品についての知識を教えるよりも、**子ども自身が造形的な見方・考え方を**働かせ、作品の特徴をつかみ取り、イメージを広げることを大切にしています。

こうした体験は、**学習指導要領**でも触れられている**主体的・対話的で深い学び**をもたらします。当館では、セルフガイドなどの教材も、子ども自身が発見し考える体験を念頭に置いて設計しています。ICT環境が充実した昨今、教室でも活用できる**オンライン教材**も用意しています。

鑑賞するのは、重要文化財を含む**所蔵作品**です。所蔵作品は、十分に作品研究がなされていることや、将来にわたって繰り返し見ることができることから、鑑賞教育に特に適しているといえるでしょう。作品や鑑賞方法の選択にあたっては、子どもたちの**発達の特性**や**学習のねらい**を考慮します。

スクールプログラムは固定的なものではありません。先生からの相談、アイデア、ご意見も歓迎します。子どもたちの様子をご報告いただけることも貴重です。私たちは先生方と常に連携をとり、美術館での体験をよりよいものにしたいと考えています。



こんな作品を鑑賞します

スクールプログラムを行う所蔵作品展「MOMATコレクション」には、重要文化財18点を含む13,000点以上から選ばれた約200点が、4階から2階の3フロアにわたって展示されています。年に数回展示替えがあり、国内外の作家による絵画(日本画・洋画)、彫刻、版画、水彩・素描、写真、映像、工芸など美術の各分野にわたる様々な表現と出会うことができます。



このページの作品と「**#キーワード**」は、鑑賞素材BOXで詳しく紹介されています。
鑑賞素材BOX <https://box.artmuseums.go.jp/>



岸田劉生《道路と土手と堀(切通之写生)》
1915年 重要文化財

#構図 #色 #写実 #風景 #環境
#郷土 #時代 #文化遺産



上村松園《母子》
1934年 重要文化財

#構図 #色 #人物
#生活 #生命 #伝統
#時代 #ジェンダー
#文化遺産

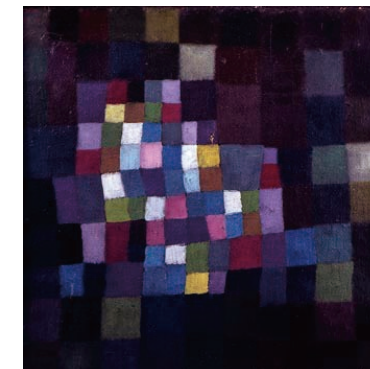
パウル・クレー《花ひらく木をめぐる抽象》
1925年

#形 #色 #構図 #抽象 #諸外国
#生命 #自然 #理数 #音楽



高村光太郎《手》
1918年頃

#形 #人物 #象徴
#身体 #エネルギー
#アイデンティティ



スクールプログラム

授業や学校行事、部活動、生涯学習などで来館する小学生から大学生、教職員までを対象に、来館目的、滞在時間や人数、ご希望などに応じたプログラムをご提案しています。

いずれのプログラムも来館の1か月前までにお申し込みが必要です。(企画展でのスクールプログラムは行っておりません。)

■ギャラリートーク

場所：展示室(所蔵作品展) 人数：5～70人

所要時間：90分以上

作品をじっくり見るプログラム。少人数のグループに分かれて、トレーニングを受けたガイドスタッフ(解説ボランティア)と対話を通じて約3点の作品を鑑賞します。学年や作品によってはワークシートやアクティビティを用いることもあります。学習目的にあわせて作品等を決めるので、先生との事前の打ち合わせが必ず必要です。



一般的な例(90分)

あいさつ(10分)→ギャラリートーク3作品(50分)→自由に鑑賞(20分)→再集合、まとめ(10分)

●先生の声

美術館に行ったことが一番に残っていると答える卒業生が数名います。ぜひこれからも続けていきたいと考えます。(小学校教諭)

互いの意見を交換したりする中で、新しい視点が生まれたり、深まりが感じられとても良かった。(中学校教諭)

●生徒の声

普通に絵を見るより何倍も楽しく、深く鑑賞できました。(小学3年生)

皆でどう思ったか話し合いました。自分では思ってもいない意見や、同意見や、真逆の意見があり、とても面白かったです。(中学2年生)

■ガイダンス

場所：講堂(地下1階) 人数：20～140人 所要時間：40分以上

講堂でスライドを用いて、教育担当の学芸員が展示の概要や鑑賞のヒント、美術館でのマナーをお話します。初めての来館や児童生徒の人数が多い場合などにお勧めします。

一般的な例(60分)

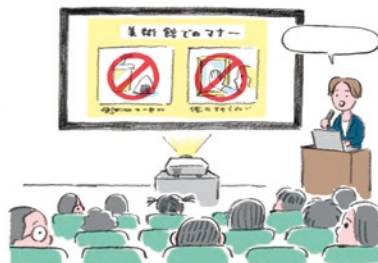
あいさつ(10分)→ガイダンス(20分)→自由に鑑賞(30分)

●先生の声

ガイダンスをして頂き、より生徒の気づきや学びを深められたと強く感じました。(中学校教諭)

自分でよく見ることを主眼に置いたガイダンスをしていた良かったこともあり、生徒たちはじっくり鑑賞できたようです。(高等学校教諭)

本学本学科の状況に合わせた内容の講義をしていただき、学生たちも自分ごととして鑑賞支援について考える機会となったと感じています。(大学教員)



■オリエンテーション

場所：エントランス、前庭

人数：5人以上

所要時間：30分以上

展示室での自由鑑賞の前に、エントランスや前庭で展示の概要やマナーなどを短時間でお話します。時間が限られている場合にお勧めします。

■グループ学習

修学旅行の班行動や、キャリア学習でのインタビューに対応します。インタビュー内容はできるかぎり生徒自身から事前に提出してください。先生が引率しない場合も、当日必ず先生と連絡を取れるようにしてください。

■その他

セルフガイドの配布や特別支援学校のサポートなど、人数や時間、学習目標に応じて対応します。まずは電話でご相談ください。

〈観覧料〉

所蔵作品展「MOMATコレクション」は、高校生以下と引率教員は無料です。

引率教員の下見も事前連絡により無料になります。企画展もご覧になる場合は、企画展の観覧料が必要です。

学生証・生徒手帳の提示が必要になる場合があります。

〈荷物〉

スクールプログラム中は、講堂でまとめてお預かりします。少人数の場合はコインロッカー(要100円玉、使用後返却)をご利用ください。

〈飲食〉

前庭と講堂では水分補給ができます。食事スペースはございません。北の丸公園などをご利用ください。

〈駐車場〉

駐車場はございません。北の丸公園などをご利用ください。

〈筆記用具〉

鉛筆に限り(シャープペンシルは使用できません)。ワークシートを持ち込まれる場合は、バインダー利用など壁や展示台にあてて書きこまなくてすむような工夫をお願いします。

〈集合・記念撮影の場所〉

前庭をご利用ください。

〈ソーシャルストーリー〉

写真などの視覚資料で美術館での過ごし方を紹介します。当館ウェブサイトからダウンロードできます。



鑑賞補助教材

■ こどもセルフガイド

配布対象：小学生～中学生（高校生や大学生に提供する場合もあります。）

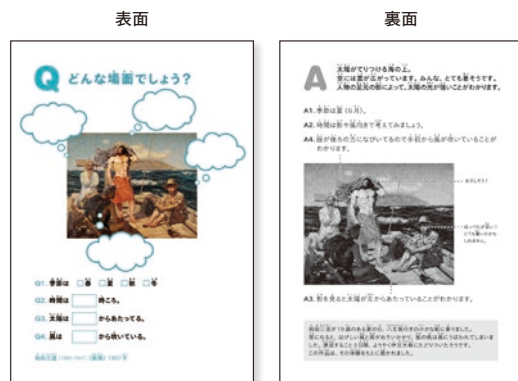
枚数：1セット6枚程度（1枚5～10分）

所蔵作品展「MOMATコレクション」で、目の前の作品を見ながら設問に答える書き込み式のワークシートです。鑑賞体験をより深めるために、作品を見るきっかけとなる設問や、技法や作者の言葉なども紹介しています。

ガイダンスやオリエンテーション後の自由鑑賞時間や夏休みの課題などにご活用ください。

スクールプログラムで使用する場合は、滞在時間やご希望に応じて50種類以上のカードから枚数やカードを特別に組み替えて提供しています。

作品1点につき1枚のカード A5判サイズ



問いかけによって作品をよく見るすることができます。一人でも対話鑑賞のような主体的・探究的な鑑賞ができるよう絵画（日本画・洋画）、彫刻など、さまざまなジャンルの作品のカードがあります。スクールプログラムでは、学習目的などに合わせてカード内容や枚数を調整し、提供しています。

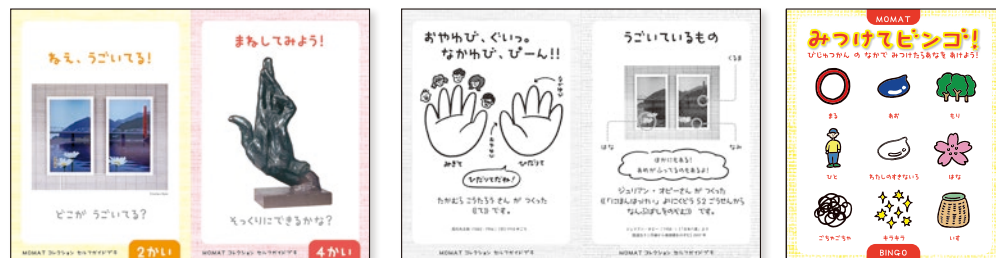
■ セルフガイドプッチ&みつけてビンゴ！

配布対象：未就学児（保育園や幼稚園の団体観覧でもご活用ください。）

4～8歳を目安とする子どもたちが、大人と一緒に使用して美術館を楽しむためのツールです。ガイドと一緒に読んだり、ビンゴに該当する作品を探したりします。

美術作品だけでなく、身の回りの事物に目を向けるためのツールとしてご活用いただけます。

※配布方法はホームページ、教員用メールニュース（登録制）でご確認ください。



鑑賞学習教材「アートカード」

アートカードは鑑賞学習のための教材です。

気持ちを伝えたり意見を聞いたりする言語活動を取り入れ、楽しく遊びながら鑑賞の力を身につけることができます。

カードは東京国立近代美術館、国立工芸館、京都国立近代美術館、国立西洋美術館、国立国際美術館の幅広い所蔵作品から13点ずつ選ばれています。絵画、彫刻、版画、写真、工芸など幅広いジャンルで構成され、対話が弾むように作品を取り揃えています。

スクールプログラムの事前授業や教員研修にお勧めします。



“遊びながら楽しく学ぶ”

アートカードは子どもたちの見る力、感じる力、そして伝える力を育みます。



作品をよく観察して発想を広げられるよう、アートカードには作品名や作家名などの情報を記載していません。

作品情報と解説はART CARD冊子をご覧ください。

「よく見るためのヒント」や作品を見た子どもたちの感想などをご紹介します。



8つのゲームと、それぞれのゲームで「身につく力」も同時に紹介しています。

貸出



・貸出期間は最長3カ月
・送料のみご負担いただけます。
TEL：03-3214-2605

販売

アートカードセット
（販売用）

価格：2,500円（消費税込）

ご注文・お問合せ
東京国立近代美術館 ミュージアムショップ
TEL：03-3214-2561

先生の声

美術館への期待が高まり、行って実物を見てみたいと思うきっかけができた。
（小学校教諭）

自分の見方や感じ方が人と違って当たり前とされるので、どの児童も楽しめた。
（小学校教諭）

抵抗なく鑑賞に取り組むのに最適な教材だと感じました。（高校教諭）

生徒の声

美術作品を鑑賞するって、こんなに楽しいとは思わなかった。
（小学5年生）

友だちと自分の考えが違って、面白かった。（小学5年生）

ICTを活用した教材・プログラム

■鑑賞素材BOX(ウェブサイト)

主に小学校から高等学校までの授業で活用されることを想定した、教員向けデジタル鑑賞教材サイトです。国立美術館所蔵の名作60点以上を、高精細画像で鑑賞することができます。

鑑賞素材BOX

<https://box.artmuseums.go.jp/>



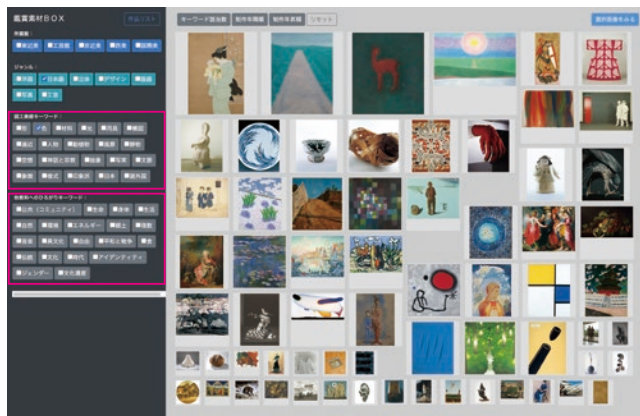
作品選択の際には、「**図工・美術のキーワード**」や「**他教科へのひろがりキーワード**」にチェックを入れると、**おすすめ作品**が大きく表示されます。

◎図工・美術のキーワード

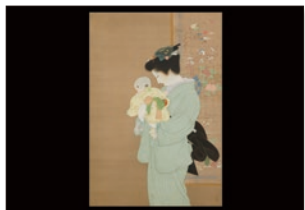
#形 #色 #構図
#人物 #風景
など

◎他教科への ひろがりキーワード

#自由 #環境
#郷土 #ジェンダー
など



高精細画像で鑑賞

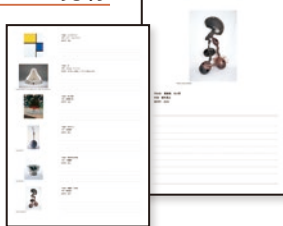


- ・電子黒板で
- ・児童生徒の端末で(QRコード発行可)

作品解説&キーワード解説つき

収録されている全作品に、国立美術館の教育担当学芸員による作品解説、キーワード解説がついています。

ワークシート発行



- ・選んだ作品でワークシートが作れます。
- ・PDFで発行、そのまま印刷して使えます。

授業アイデア集つき

学年・教科ごとに、小学校・中学校・高校教員が執筆した「鑑賞素材BOXを活用した授業アイデア集」が用意されています。

鑑賞素材BOXには、アートカード(p.6)と同じ作品が収録されています。
(一部の作品は、著作権上の理由により 高精細画像の取扱いがございません)

ICTを活用した教材・プログラム

■MOM@T Home こどもセルフガイド(ウェブアプリ)

小・中学生向けの書き込み式セルフガイド(p.5)をデジタル化した教材です。タブレット端末で快適に利用でき、展示室だけでなく自宅や学校など、どこからでも、東京国立近代美術館の作品や鑑賞のヒントを閲覧できます。

<https://momat-home.glideapp.io/>

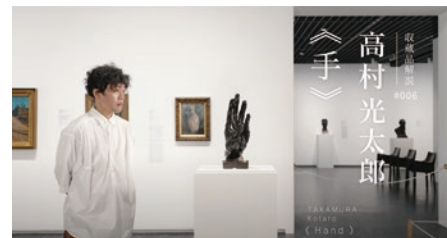


■Youtubeチャンネル

学芸員や作家によるトーク、修復の様子、ガイドスタッフによる作品紹介などさまざまな動画を視聴できます。

事前・事後学習にもお役立てください。

<https://www.youtube.com/user/MOMAT60th>



■オンラインギャラリートーク

遠方の学校や特別な支援の必要な学級・学校向けに、オンラインでの鑑賞プログラムも行っています。美術館と学校側でのICT機器や接続環境の確認が必須となります。お早めにご相談ください。

開催方法: Zoom(ウェブ会議ツール)など

人数: 応相談
ブレイクアウトルームに分かれて1グループ6名程度で鑑賞など

所要時間: 60分程度(応相談)

推奨環境: 生徒ごとに1台のPCやタブレット端末、ヘッドセット(イヤホン&マイク)

先生の声

作品の様々な箇所に焦点を当て、生徒の色々な思いや考えを引き出していただき良かったです。
(特別支援学校高等部教諭)



先生のためのプログラム

■先生のための鑑賞日

対象：小学校・中学校・高等学校の教職員

申込方法：募集期間内にオンラインでお申し込み

開催日：通常、企画展開催の最初の金曜日～日曜日

開催情報：ウェブサイト、教員向けメールニュース（登録制）でご案内

企画展の教職員向けプログラムです。企画展を無料で観覧できます。

※事前申込、当日の身分証明書提示が必要です。

先生の声

子どもたちに美術を紹介するために活用しています。
(小学校教諭)

美術部の生徒に展覧会を紹介したくて参加しています。
(高等学校教諭)

■先生のための鑑賞講座

「先生のための鑑賞日」にあわせて、展覧会を企画した学芸員や教育担当学芸員がレクチャーを行います。

先生の声

展覧会の企画意図がとてよくわかり、毎回楽しみです。
(中学校教諭)

■教員研修

小学校・中学校・高等学校の教員研究団体向けに研修を実施しています。

事前の申請により、観覧料が免除されます。

来館の1か月前までにお申込みが必要です。

■教員向けメールニュース 登録をお勧めします！

「先生のための鑑賞日」など、先生向けの情報を年に数回、不定期でお知らせします。ウェブサイトまたはQRコードから登録してください。



■美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修

独立行政法人国立美術館と文部科学省の共催により、夏季に行います。

参加には都道府県または政令指定都市の教育委員会による推薦が必要です。

<http://www.artmuseums.go.jp/> (国立美術館)

美術館からのお願い

■美術館でのマナー



さわらない

作品を大切にしましょう。
何百年先も残すために。



ゆっくり歩く

作品や人にぶつからないように
走らずゆっくり歩きましょう。



しずかな声で

他にも作品を見ている方がいます。
大きな声は出さないように。



柵や床の線の中には、はいらない

柵や線は作品に近づきすぎている合図です。



メモは鉛筆で

作品を汚したり、傷つけてしまわないように。
シャープペンシルや消しゴムも使えません。

階段や踊り場もギャラリー内です。足音や話し声が響きやすいので、「しずかな声で」「ゆっくり歩く」よう、ご指導ください。

■写真撮影について

所蔵作品展「MOMATコレクション」では下記の条件の範囲内で写真撮影が可能です。

スクールプログラムの様子を撮影される際は、事前にご相談ください。

フラッシュ、三脚は
使用できません。



撮影禁止マークの作品は
撮影できません。



動画は
撮影できません。

・他の来館者の鑑賞を妨げるような撮影はご遠慮ください。
・撮影された写真に来館者が写っている場合、その写真の公表にあたって写りこんだ方の肖像権に触れる場合がありますので、ご注意ください。ご使用の際は、利用者の責任においてお願いします。美術館は一切の責任を負いません。

撮影された写真の利用に関して

- ・営利目的にはご利用になれません。
- ・変更を加えることはできません。
- ・ブログや写真サービスなどに利用する場合は下記の情報をあわせて掲出してください。

【作家名、作品名、「MOMATコレクション」展、東京国立近代美術館】

- ・作品の写った写真を利用する際、著作権法に触れる場合がありますのでご注意ください。